

1次コンテスト以降の動き

令和4年

7/9

まち普請一次コンテスト

※実行委員会は全員で月2~3回、
その他作業チームごとに集まって
進めている

7/28

コンテスト振り返り・役割決め
コーディネーターの選出

8/19

コーディネーター山路さま
顔合わせ

8/26

まち普請現地見学会

8/27

見学会報告会

9/14

ステップアップシート記入
今後のスケジュール確認

9/17

シェアベースでやってみたいこ
とアイデアだし@ことはじめ市

9/18

まち普請活動懇親会

9/21

地域のNPOヒアリング
地域づくり塾との
連携について相談

9/27

大学生とおにぎり会

10/2

学生と模型づくり

10/10

学生と模型づくり

10/17

シェアカフェプラフテラス
見学

10/17

藤棚デパートメント見学

10/20

近隣の高校2校への
アンケート依頼

10/22

まちまど来訪者
ご自宅で柿もぎ

10/29

現地見学会

10/30

シェアベースで
やってみたいことアイデアだし
@HAPPY★ハロウィンin洋光台

11/2

シェアベース使ってみたい人
やってみたい人大集合！

11/3

磯子で活動する劇団へ
チラシ折込

11/4

地域の方へのヒアリング会

11/10

高校へアンケート用紙お届け

この間、個別にお声掛
けを続ける。興味を持っ
てくださっていた方々が
どんどん仲間に！

11/24

学生と模型づくり

11/27

Yakigashi ichi

緊張しすぎて
この日の記憶が
曖昧です



手先が器用で
楽しそうに。
見習うこと
たくさん！



運営のリアルを
お伺い



先生たちが
ウェルカムで
びっくり！



楽しい
アイデアが
たくさん！



率直な意見が
たくさん
出てきたよ！



初対面
握りだした途端
仲良くなった



模型を作ると
様子が一気に
わかりやすく！



ここで出会った
常連の年金
シスターズ



初めての柿もぎ
歓声があがったよ



この日
出会った人が
本格的に
メンバーへ



焼き菓子の
魅力を
再確認！



まちまどの今後について

- ・ 「まちまど-洋光台まちなちの窓口-」（以下、「まちまど」という。）は、洋光台エリア会議での提案により、令和元年5月に試行的に立ち上げられました。
- ・ 令和5年3月に法人化予定ですが、洋光台エリア会議の議論をもとに推進してきたエリアマネジメントの担い手として、引き続き地域の情報収集・発信拠点の機能を果たし、コミュニティ活性化に資する重要な役割を担っていきます。



まちまど運營業務受託者
HITOTOWA INC.

次ページより

まちまどの目指してきたもの（過去資料より）

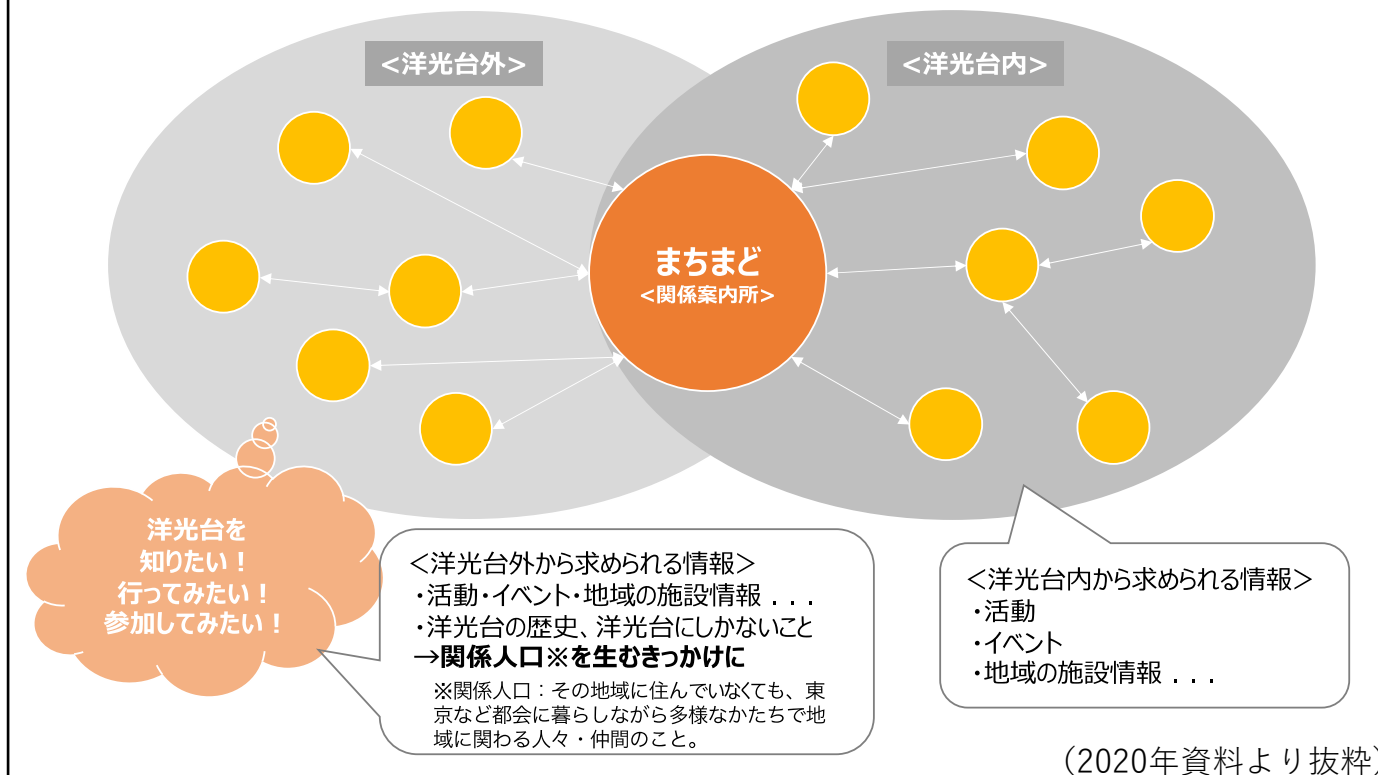
まちまどの設立目的

高齢化を背景に子どもの流出抑制や若年世帯・子どもの流入促進（一度流出した子どもの回帰も含む）を図り、それらの結果、**次世代の担い手育成につなげる**ことを目指す。

（立ち上げ時／2019年資料より抜粋）

まちまどが目指してきたもの = 洋光台内外の関係案内所として関係人口を生むきっかけを作る

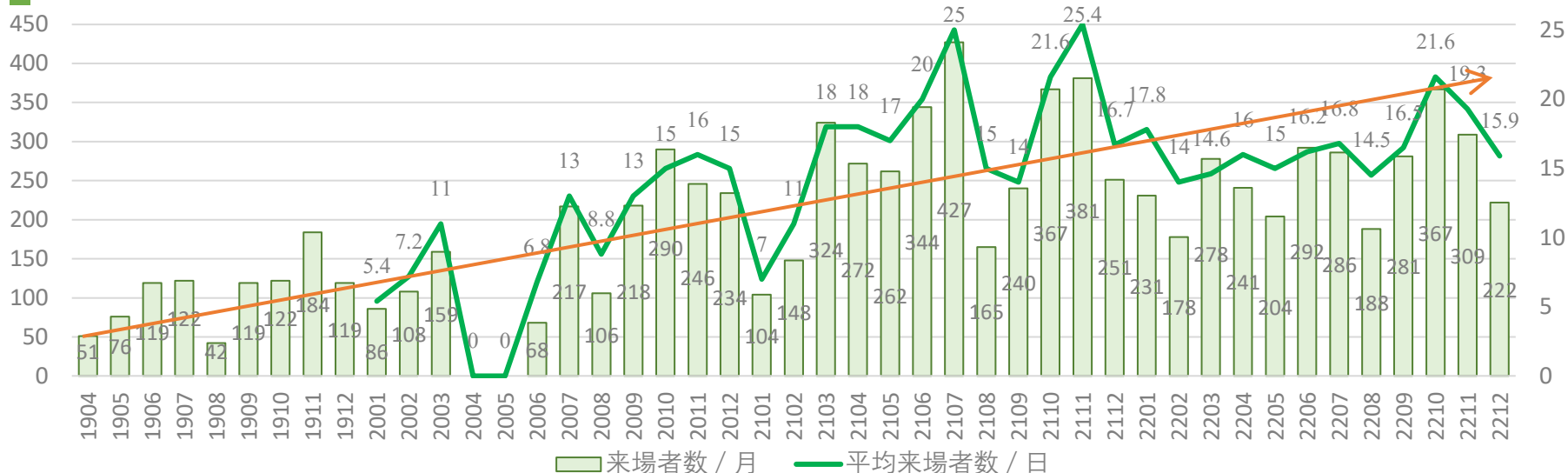
- “関係案内所”とは：人と人が自然に出会う場所。（一部では地方と都心部を繋ぐ役割を果たすもの。）
- 洋光台には魅力的な資源（関係人口を生み出せる素地）が数多くあり、それらは洋光台に暮らす人にとっても魅力のあることである。まちまどは、洋光台内外の人両方が、洋光台の魅力に気づける場所でありたい。



まちまど、CCラボの来場者数の推移

まちまど・CCラボ運営により洋光台の関係人口増加に寄与。さらにこの取組を発展させていきたい。

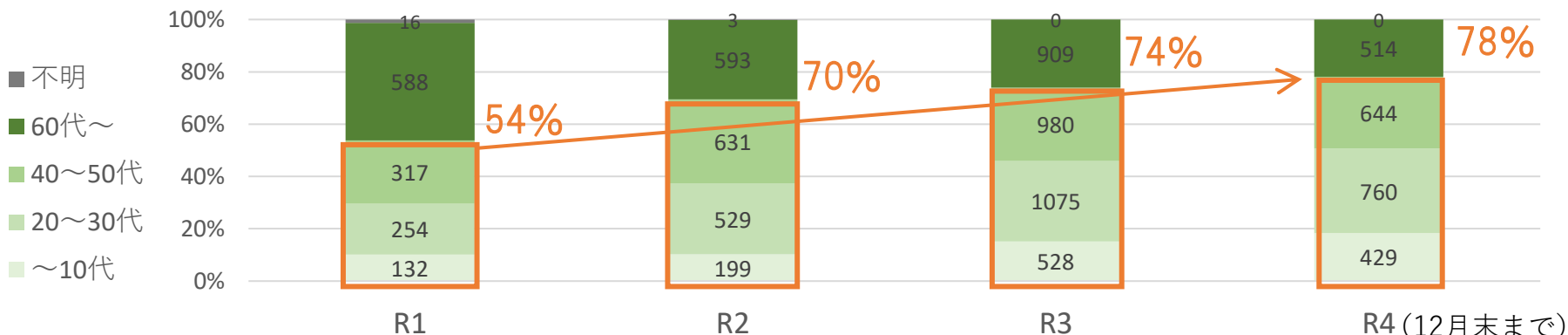
まちまど来場者数の推移



→まちまどには火曜から金曜の9：45～17：00(祝日休み)スタッフが常駐。

活動開始1年を経たずにコロナ渦となったが来場者数は、夏・冬の長期休暇や外出制限時を除き、月間200～400名台、1日20名前後。活動年数が増えるにつれ、打ち合わせで外出やまちまどを閉めている機会が開設当初より増えているものの、来場者は増加傾向にある。

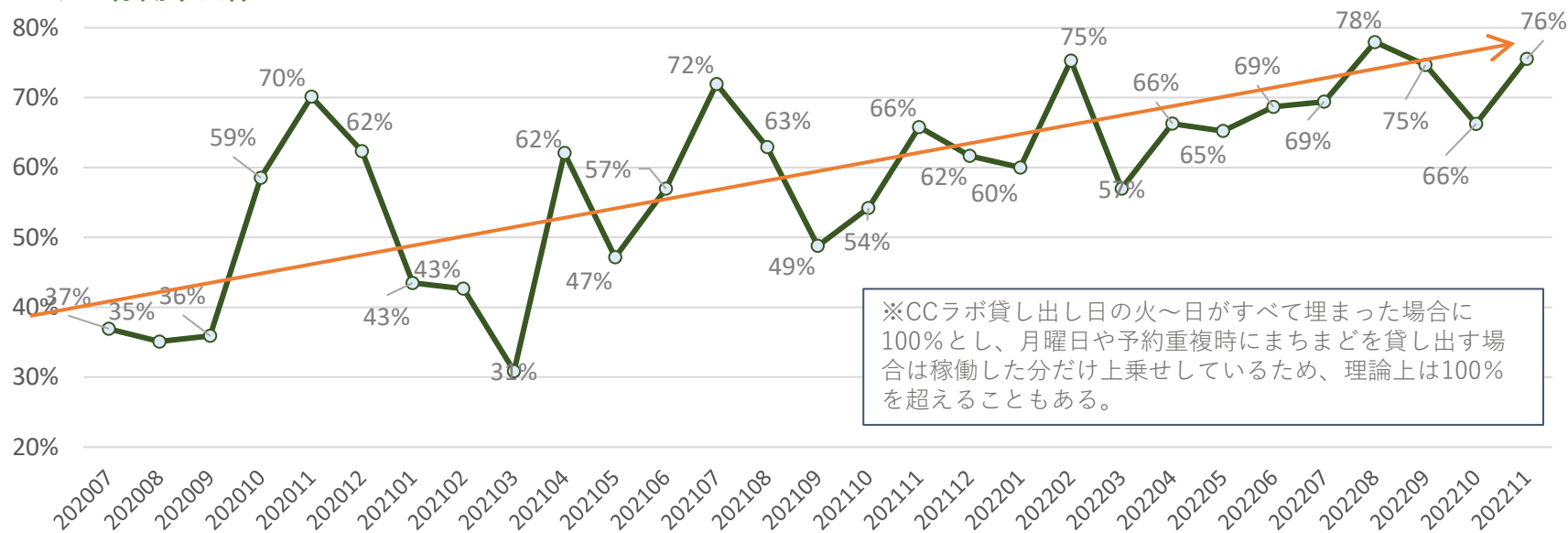
まちまど来場者の年齢別推移 (年度別)



→来場者のうち、50代までの若年層の来場者の割合が増加。これら来場者が、洋光台のお店の来店客になることや、居住の流入につながる事が期待できる。

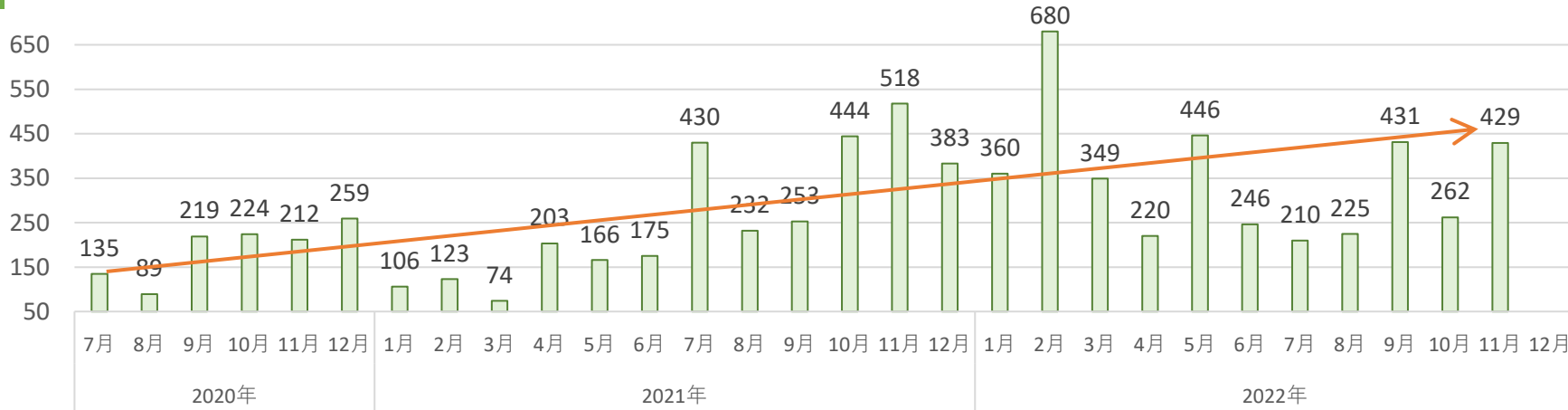
まちまど、CCラボの来場者数の推移

CCラボ稼働率全体



→2020年7月より運営を開始し、活動団体数約30組（常時15組/月程度活動）。稼働率は、6～7割で安定。

CCラボ利用者数の推移



→活動参加者数も、右肩上がりに推移し、月間200～400人台で安定。

これまでの主な活動について

洋光台エリアの連携・交流促進に関する企画・調整

まちづくりや多世代交流のためのイベントを企画・運営。
洋光台周辺エリアの住民が地域に関わるきっかけづくりを行ってきた。



『ふろしき市』
多世代交流のためのテーマ型フリーマーケット



『トークイベント』
他地域のまちづくりに携わる若手による講演



団地のライブラリー
『読んでしゃべってくつろいで』
(インターンの大学生と企画)



『おしゃべり会』
まちまど来場者とまちのしかけ部を発足。
地域の方と語り合う会



コミュニティマルシェ『ことはじめ市』
(計6回開催)



『yakigashi ichi』
まちまどの日々の繋がりから
焼き菓子を作って販売される方と共に開催。

これまでの主な活動について

地域の課題解決等の担い手の発掘

地域への接点や活動経験の少ない方でも、イベントが実施できるように企画の支援・宣伝やボランティアの呼びかけなどの伴走支援を行っている。何かをはじめてみたい方のエントリーの場としても機能し始めている。

┃企画の実施支援を行った事例



『食と音の小さなフェスティバル』
地域の音楽教室代表からの相談を受け、
地域のコミュニティカフェと三者で事務局運営



『こども食堂レインボー』
相談を受け立ち上げに協力
(こども食堂レインボーHPより)



『あおぞらカレーパーティ』
相談を受け
洋光台地域ケアプラザと開催

┃まちまでのご相談からCCラボやまちまで前での企画開催に繋がった事例（一部抜粋）



環境ワークショップ



リトミック教室



仕事と子育ての相談会



ピアノコンサート



健康相談会
(毎週金曜日)

これまでの主な活動について

地域活動への参加・サポート

地域の活動に参加・協力することで多様な層の方々とも知り合うことができた。
地域の方々との距離が近づき、地域の方々との情報交換を日々行いながら活動している。



『洋光台駅前公園プレイパーク』
毎回の活動への参加のほか、
夏の拡大プレイパークでワークショップを実施



『梅の里まつり』
ワークショップを実施



『わっふる会議』
毎月の会議をCCラボで実施。
春に開催するお花見ウォーキングへの参加



『防災授業』
地域の小学校の防災授業への
参加・サポート



『スマホ講座』
洋光台地域ケアプラザと共催で
高齢者向けスマホ講座の開催



『micの洋光台お部屋探訪』
地域の企業と協力して、
賃貸や購入など選択のお悩み相談等を実施

まちまどのこれまでの収支

行政等からの業務委託に頼るのではなく、**自主事業により人件費を賄う体制を整えることを目指してきたが、これまでの体制では人件費を賄う自主事業が不足している状況。**若年層の流入等の成果が見え始めていることから、**活動目的に沿った核となる事業が必要。**

まちまど収支実績（2022年1月～12月）					
収入					
項目	内容	月単価	数量	単位	年額
事業収益	視察ツアー	68,000	1	式	68,000
	CCラボ運営	458,000	1	式	458,000
	イベント出店料	27,000	1	式	27,000
合計					553,000
支出					
項目	内容	月単価	数量	単位	年額
人件費	スタッフ事務費	228,000	12	ヶ月	2,736,000
水道光熱費	まちまど・CCラボ	15,000	12	ヶ月	180,000
通信費	インターネット等	4,000	12	ヶ月	48,000
保険料		10,000	1	年	10,000
備品購入費		2,000	12	ヶ月	24,000
システム費		40,000	1	年	40,000
合計					3,038,000

⇒以前の検討では、「コワーキングスペースの運営」を核に事業検討をしておりましたが、コロナ情勢の変化や利用ニーズ獲得に難しい面もあり、別の可能性について再度検討を行ってきた。

今後核になる事業 = 複合的な自己実現の場「シェアベース」

まちまどで生まれているコミュニティ

まちまどには現在、子育て世代の主婦・高齢者・趣味を楽しむ女性・海外出身者等との交流が生まれてきているが、まちまどの役割である“次世代のまちの担い手を育てる”観点で以下のコミュニティに注目している。

①子育て世代(20~40代)の主婦



まちまどに日常的に立ち寄り・会話をしている。
スタッフと会話をしつつ、友人同士でも会話をしながら滞在したいという要望がある

②子育てが落ち着いて趣味を楽しむ女性



CCラボの利用を中心に、クラフト系など自分で何かを作る楽しみを持つ方が多い。
趣味を行いながら、集まって一緒に時間を過ごすことを楽しんでいる

③団地居住の海外出身者



CCラボ利用者(中国)・学生のヒアリング活動の一環での繋がり(ペルー・フランス)・クラフトマルシェゾーン店舗での繋がり(バングラデシュ・ロシア)・その他利用者の方(モンゴル・国際交流サロンの運営者)等との交流が生まれている



現在生まれているコミュニティ(上記)は大切にしながら、洋光台内外を繋ぐ関係案内所としての機能を高めていくために洋光台外とのネットワークを持っている方を巻き込みたい

④洋光台外で仕事をしている子育て中の男性会社員・フリーランサー



⑤自分で作ったものを各地のマルシェやインターネット上で販売する作家



★まちまどで開催している「まちのしかけ部おしゃべり会」で子育て中の男性、「ことはじめ市」で焼き菓子やクラフト系の作家との繋がりは既に生まれてきているが、より日常的に関わりを持てる空間や機能ができて地域の手醸成に繋がるのではないかと考えられる

今後核になる事業 = 複合的な自己実現の場「シェアベース」

まちまどの今～求められる機能

まちまどでは昨年度から食に対する活動の要望が増えてきていた

- 子ども食堂（現在月2回開催中）
- 食育講座
- 持ち寄り食事会（ママ友会・子育てサークルの集まり）
- カレーパーティ等団地居住の海外出身者が主催する食事会・料理教室 等



キッチン付きのシェア空間<シェアベース>があれば、上記の活動が実現できる

（洋光台周辺には行政運営の貸しキッチンはあるが、活動者登録が必要・活動内容の制限があるなど利用のハードルがあるため、上記活動は行いにくい面がある）

まちまどのターゲット

①子育て世代(20～40代)の主婦

②子育てが落ち着いて、趣味を楽しむ女性

③団地居住の海外出身者

④子育て中の男性会社員・フリーランサー

⑤各地で活動しているマルシェ作家

シェアベースでの活動イメージ

ママ友会、料理教室への参加・居場所

サークル交流茶会の開催

自国の文化を伝える料理教室への参加

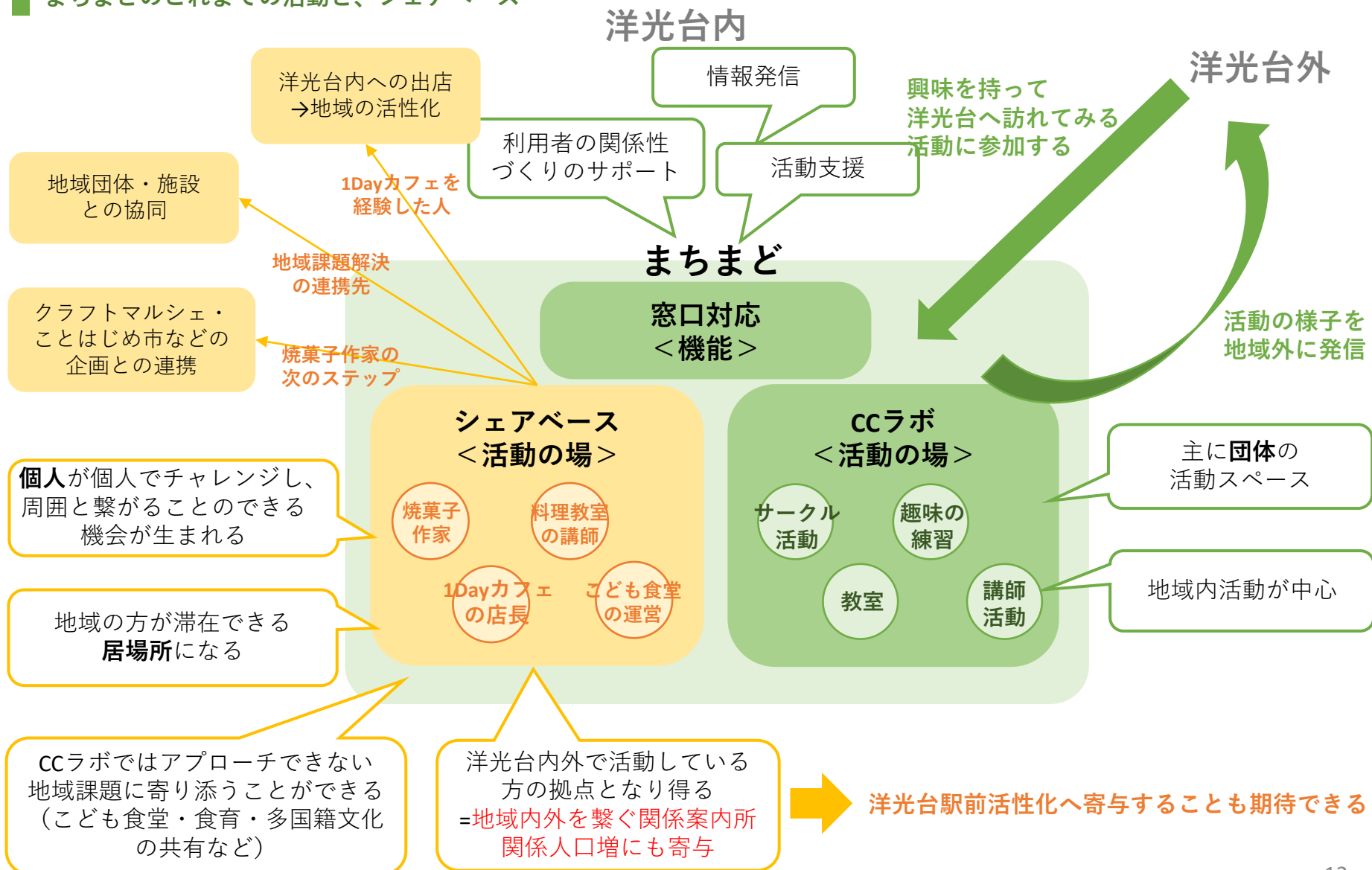
男性向け料理教室への参加/バーカフェへの来店

焼菓子製造・料理教室講師

まちまどへ関わっている方・巻き込みたい方と繋がりを深められる活動 = 食

今後核になる事業 = 複合的な自己実現の場「シェアベース」

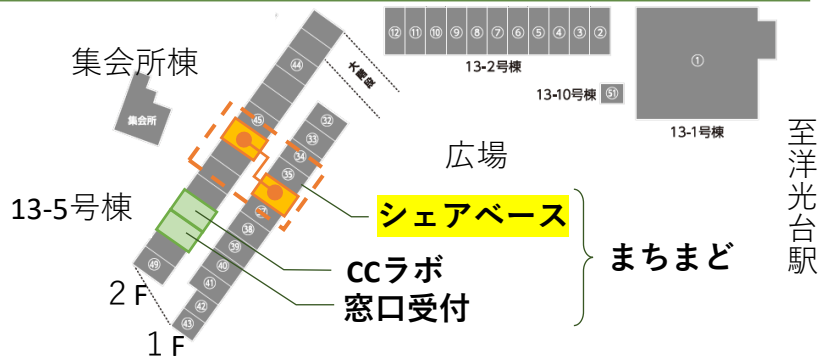
まちまどのこれまでの活動と、シェアベース



今後核になる事業 = 複合的な自己実現の場「シェアベース」

シェアベースの設置場所

洋光台駅に隣接する洋光台中央団地13街区5号棟に設ける。
洋光台や近隣に居住する方々が立ち寄りやすい状況を目指す。



シェアベースの利用用途

貸スペースとして、**ワークショップ**や**チャレンジショップ**等「やってみたい」の受皿となる場

料理教室等の講座

家庭で過ごす時間の増加によって
ニーズが高まっている。



出典：オーガニック料理教室
ワクワクブーク

子ども食堂



例えば・



菓子製造

BASE等のEコマースプラットフォームの発達や、横浜～湘南エリアのマルシェの増加による小商いの広まりと、手作りのものを販売することへのハードルが下がっている。“作る”にチャレンジする方の増加。

1Dayカフェ等

1Dayカフェのほか、テイクアウト・デリバリー対応中心の店舗も。



出典：藤棚一番街協同組合

1・2階はともに、菓子製造許可・飲食店営業許可取得のキッチンと客席を整備。1・2階にそれぞれ性格の異なる空間を設けることで、異なる活動を行う団体同士の交流やまちの新たな出会いに繋げてまいります。

シェアベースを通じて洋光台で実現していきたいこと

コラボレーション支援

- ・地域のちいさな八百屋さんや野菜生産者さんとのコラボ企画
- ・マルシェ出店者、シェアベース利用者のコラボ企画

交流支援

地域の人たちが口コミで広めて下さっている部活のような交流の場。

- ・こめこくらぶ
- ・アジア部
- ・くだもの部
- ・糀部

はじめの一步支援

何かをやりたいと思っていた方が、これをきっかけとして一緒に活動するメンバーになったり地域の活動に興味のある方とも繋がることのできる場。

スタートアップ支援

- ・メニューの作り方講座
- ・お料理の写真の撮り方講座
- ・チョークで描く看板講座
- ・フライヤーの作り方講座
- ・SNSでの発信の仕方講座

シェアベースを借りている人たちへの支援

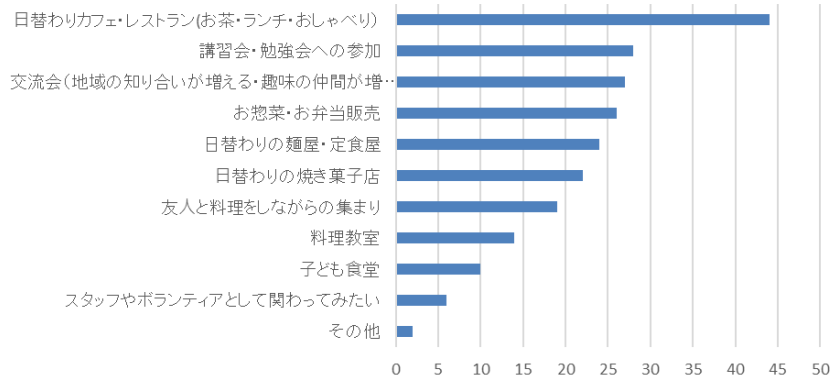
使っていく中での共有した方がよいことの情報や、疑問点、改善点などを話したり、そこからさらに自分たちだけではなく、ここからコラボ企画などが始まっていけるような場の設定をする。

シェアベースの活動を通じた動き

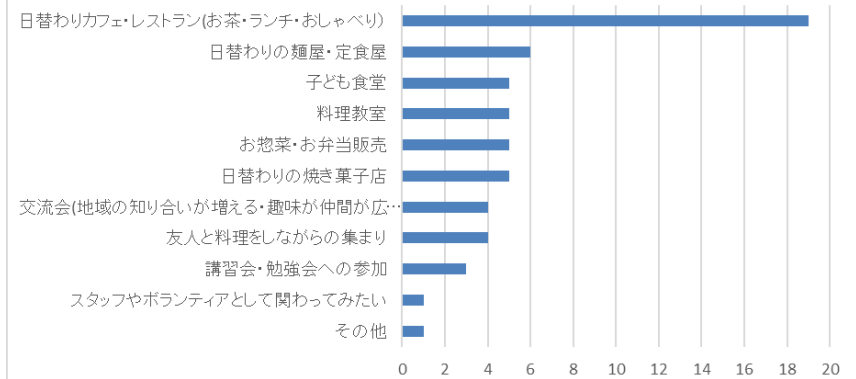
ヒアリング・ワークショップ・アンケートの実施

地域へのヒアリングやアンケートを通じて、活動を発信。
 「私もやってみたい！」の声が徐々に集まり、活動の輪と仲間が広がってきている。

(一般)シェアベースができれば利用したいもの(複数回答可)

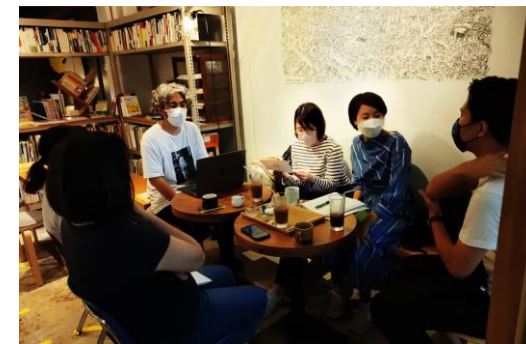


(学生編)シェアベースができれば利用したいもの(複数回答可)



アンケートの実施

シェアベースの活動を告知し仲間を募るため、そして活動への関心度合いを図るため一般編と学生編をそれぞれ設定し、集計を行った。



シェアベースでやってみたいこと

@ ことはじめ市 / @ Happy ★ハロウィンin洋光台

来場者にシェアベースの説明。どんなことをこの場でやってみたいか、行きたいかの意見を募った。

つかってみたい人大集合!

既に地域で活動している方や大学生が参加。シェアベースの説明。どんなことをこの場でやってみたいか、行きたいかの意見を募った。

シェアキッチン運営事例へヒアリング

実践のノウハウをお伺いするとともに情報交換を行った。

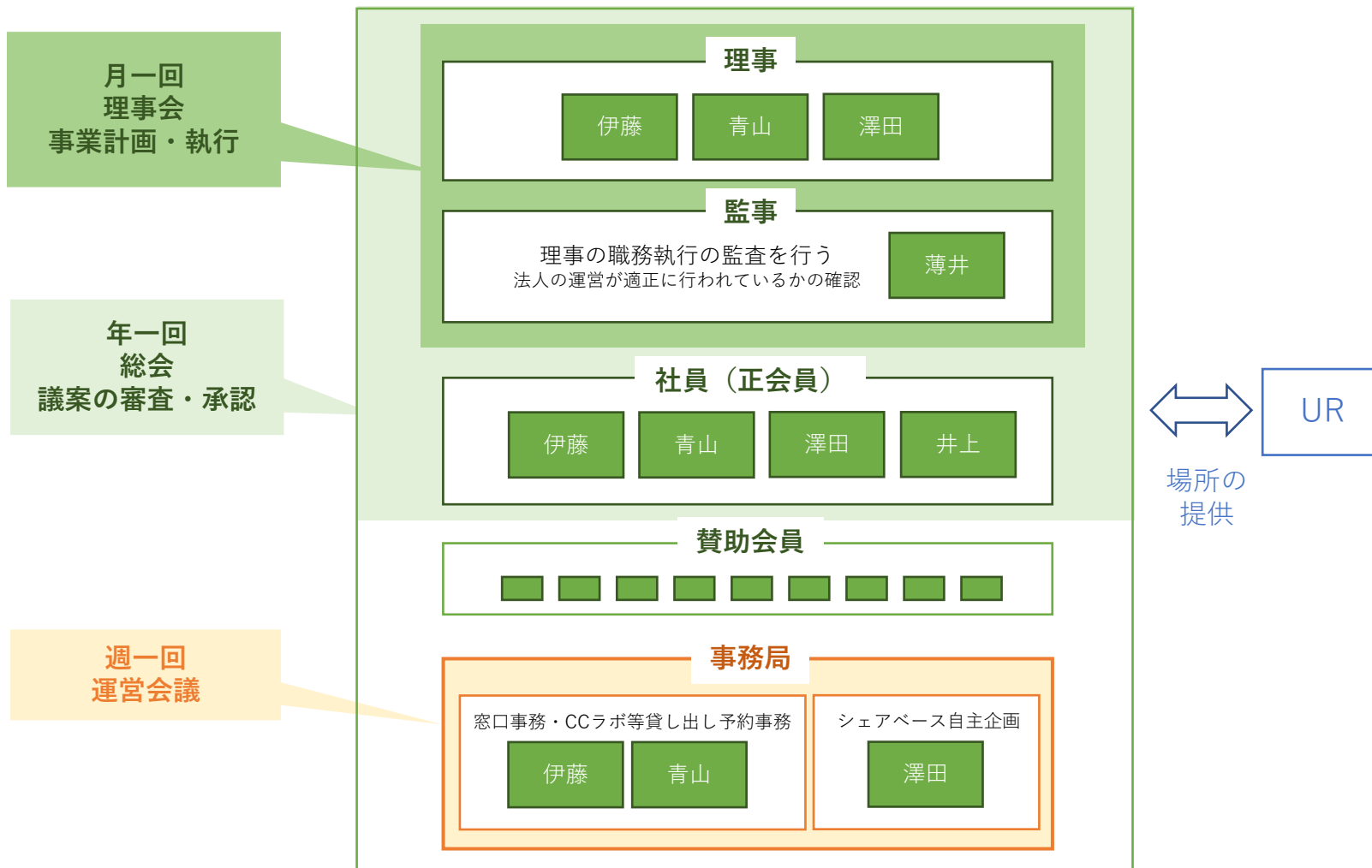
今後の運営体制について

まちまどの法人化について

今後の運営のため、まちまどは法人化をいたします。法人の中でも、株主に左右されない小回りの利く運営を目指し非課税で寄付・会費徴収を行うことのできる「一般社団法人」を設立することになりました。

一般社団法人まちまどについて

※一般社団法人とは：「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」という法律を根拠に設立される「非営利法人」を言います。余剰利益は分配できませんが、役員や従業員に役員報酬、給与を支給することは可能です。



収支案（初年度）

収入			(単位：万円)
項目	年額	備考	
会費	41	法人：5万円×5口、個人：2000円×80口	
事業収益：視察ツアー	13	既実施 / 取り組み紹介・まちあるきツアー	
事業収益：CCラボ	74	既実施	
事業収益：シェアベース	321		
事業収益：レンタルショーケース	10		
事業収益：イベント参加費等	24		
助成金	60		
持出金	60		
合計	603		
支出			
項目	年額	備考	
家賃	-	チャレンジスペース制度	
共益費	11		
人件費	357	※シェアベースに関する「企画報酬・謝金」は23年8月～24年3月で計算	
水道光熱費	46	※シェアベースに関する水道光熱費は23年8月～24年3月で計算	
通信費	12		
保険料	5	PL保険・火災保険等	
設備・什器・雑費予備費	52	一式（23年4～7月15,000円/月、23年8月～24年3月30,000円/月）	
広報費	24	チラシ作成等	
その他	27	清掃委託費・システム費・税金	
法人運営事務費	38	総会開催・税理士費用	
合計	572		

※R5.3時点の想定です。

収支案（2年目）

収入			(単位：万円)
項目	年額	備考	
会費	41	法人：5万円×5口、個人：2000円×80口	
事業収益：視察ツアー	26	既実施 / 取り組み紹介・まちあるきツアー	
事業収益：CCラボ	94	既実施	
事業収益：シェアベース	513		
事業収益：レンタルショーケース	10		
事業収益：イベント参加費等	36		
助成金	180		
合計	900		
支出			
項目	年額	備考	
家賃	132		
共益費	11		
人件費	409		
水道光熱費	60		
通信費	12		
保険料	6	PL保険・火災保険等	
設備・什器・雑費予備費	66	一式（45,000円/月）	
広報費	36	チラシ作成等	
その他	29	清掃委託費・システム費・税金	
法人運営事務費	38	総会開催・税理士費用	
持出金返済	60		
合計	859		

今後の運営体制について

まちまどのまちの中での位置付け

引き続き、地域の情報収集・発信拠点の機能を果たし、コミュニティ活性化に資する重要な役割を担う存在として位置付けは変わらない。シェアベースの付加により、今の位置付けをさらに勢いづけたい。

なお、活動場所の提供者となるURとは、シェアベースの賃貸借契約とあわせて、「エリアマネジメントの実施に関する協定書」を締結予定。単に、施設賃借人としてだけではなく、住民主体の団体が、団地を核として継続的な自立的運営ができるかを検証する実証実験としても、URと連携協力してエリアマネジメントを推進する。

今後のスケジュール

